

NEWS FLASH

伝団協 加盟団体の 近況・祈りの課題

No. 83
2015年
2月

■アジアアクセス

- ①スタッフ陣が今年度新たになり、新しい研修等がスタートします。日本全国に福音が満ちるよう諸教会にお仕えすることができますように
- ②ビジョン2020が達成されるよう、より良く日本の教会増殖に貢献できますように
- ③アジアアクセスの働きが、アジア11ヶ国に広がっています。御心にかなった貢献を日本からできますように

■いのちのこぼ社

EHC(全国家庭文書伝道協会)の働き(トラクトの発行、月刊「たねまき」の発行、世界のEHCとの協力、聖書通信講座)は、祈りのメンバーの尊い祈りと献金によって支えられています。メンバーになって頂ける方がさらに加えられますように。

■クリスチャン文書伝道団

- ・日本および世界の文書伝道の働きがますます祝されますように。特に困難な状況での働きが、主にあって守られますように。
- ・働き人およびその家族の健康と霊性が守られますように。
- ・年度末およびイースターの販売が祝されますように。
- ・日本の教会全体が祝され、一人でも多くの方の魂が救われますように。

■高校生聖書伝道協会(hi-b.a.)

日本にいるすべての高校生に迅速に福音を届けることができるように、そのために高校生伝道の働きが用いられて、主のご栄光を現すことができるよう祈りください。

■こころの友伝道全国連合会

第62回全国大会が8月26日から28日まで伊豆の天城山荘で開催されます。特別講師は近藤勝彦先生。大会のテーマは「伝道と教会形成」(仮題)。参加者100名与えられ、福音宣教に押し出されますように。

■新生宣教団

- ・ホープ・フォー・リビング・フィリピンを新しい団体と継続します。協力団体の働きが支えられますように。
- ・迫害下にある兄弟姉妹の信仰生活が守られますように。
- ・世界の聖書の必要に応えることができるように。クリスチャン一人に一冊の聖書を!

■全日本リバイバルミッション

- ・沖縄70リバイバルミッションの祝福の為に
2015年は、太平洋戦争終結70年という節目の年です。全日本リバイバルミッションでは、2015年4月～6月の3ヶ月間、沖縄県下の教会をくまなく巡り70集会を開催させて頂き、福音宣教の為に働きたいと願っています。パピロンに補囚されていたイスラエルの民が、70年の時を経て、エルサレムに戻ることができたように、沖縄県下にもエレミヤ29章10節～11節の「将来と希望」の約束が現されるよう祈りください。

■総動員伝道

- 1、45周年を迎えた今年の諸活動が祝されるように。
- 2、そのための諸経費が満たされるように。
- 3、次代を担う器の養成のため。
- 4、支援者・団体・教会が祝されるように。
- 5、事務所移転がスムーズになされるように。

■太平洋放送協会

- 「栃木県ラジオ伝道協会」が発足しました。協力教会がさらに増えますように。「世の光いきいきタイム」が栃木県の人々の救いのために用いられますように。

- 全国30の放送伝道協会の働きのために。全国で福音番組を放送しています。ラジオ番組「世の光」(24局)、テレビ番組「ライフ・ライン」(13局)一人でも多くの方に福音を届けることができるように。
- スタッフの健康と霊性が守られ、限られた人数の中でより良い番組制作をすることができるように。

■小さなのちを守る会

2015年7月12日(日)、各教会の礼拝が終わり、午後の奉仕と交わりの終わった午後4時半頃(あるいは5時)から、警視庁の協力のもと、都心の車道を『いのちの行進』(Life For March)をします。叫ぶことなく笑顔の聖者の行進です。神の形に創造された“いのちの尊さ”を輝かせる証の行進です。「いのちの行進」に参加し、地の塩、世の光としてのキリスト者であることを、行いによって証し、一緒に神のいのちとその救いを賛美してください!!

■東京プレーヤーセンター

1. TPCが日本のリバイバルのために用いられます様に
2. TPCの活動に日本中の教会関係者が参加して下さい様に
3. TPCの昼の礼拝、朝・夕の祈りに多くの方が参加できますように
4. 「TPC女性メッセンジャーの会」が祝福されます様に
5. TPCの経済が祝福されます様に

■日本華人クリスチャンセンター

1. 5/4、5、6の信徒育成大会が祝されますように。
2. 5/15、16、17の「在日華人福音伝道大会」に最適なお証し人、会場及び全ての必要が備えられるように。
3. 日本の全ての教会が祝され、一人でも多くの方の魂が救われますように。
4. JCCの奉仕する為に必須な用地(総合オフィス)を賜りくださるように。
5. 伝団協及び他の伝道団体、教会と宣教協力ができるように。

■日本聖書協会

- ・聖書の新翻訳事業が祝されますように。
- ・耳の不自由な方のための「手話訳聖書DVD」が一日も早く全巻完成され、用いられますように。

■日本宣教リサーチ

- ①日本宣教リサーチの活動が、主から知恵と導き与えられ、みこころにかなう働きをなすことができるように。特に、「日本宣教ニュース」の発行、日本宣教に関わる現状の調査・分析が用いられるように。
- ②日本宣教における「1%の壁を破る」ための方策や、日本の教会が直面している課題の研究等を通して、日本宣教の進展に少しでも寄与することができるように。
- ③日本宣教に従事されている教会や団体・個人の方との連携を、幅広く深めることができるように。

■ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

- ・再臨待望聖会を沖縄(3/14)、札幌(3/21)、大阪(3/24)、名古屋(3/26)、東京(3/28)で開催します。日本の霊的覚醒につながる集会となるよう祈りください。
- ・フルクテンバウム博士セミナーを大阪(5/1・5/2)と東京(5/5・5/6)で開催します。終末論がテーマです。聖書的終末論の理解が広まるよう祈りください。

■福音ネット伝道協力会

- ①インターネット配信伝道番組「この指とまれ」が、世界の多くの人々に聴かれるように。
- ②「この指ドラマ館」、聖書ドラマ「イエスに出会った人々」、ノンフィクション日本語版「解き放たれた人生!」、朗読(聖書・名作)の4大コンテンツの毎月更新作業(録音・編集・アップロード)が守られるように。
- ③同労者(出演者)1月に親子3人が加えられ、現在10人、感謝。更に与えられるように。
- ④伝団協の他の伝道団体と、宣教協力ができるように。

■ワンホープ(OneHope)

- ・働き人を探していますが、最適な人を主が備えてくださいますように。
- ・4/14の憲運動を全国の教会に届けられますように。
- ・多くの課題や、プロジェクトの可能性があるので何をするかよい判断ができますように。

伝道団体の情報誌

協力 83

FRONT ESSAY

「ここに、私がおります。」



小さなのちを守る会

辻岡健象

「すべての造られたものに、福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16:15)。主の宣教至上命令です。「ここに、私がおります。私を遣わしてください」(イザヤ6:8)。

私たち伝道団体連絡協議会は、この主の至上命令に従う一つひとつの宣教団体です。主イエスは弟子たちを遣わされる時、2人を1組にされました。伝道チームです。たとえ何が無くても、協力して、福音を携えて遣わされるのが伝道団体連絡協議会です。

4人の人が、1人の友の中風の癒しを願い、寝かせたまま床のままで運んで来て、イエス様のところに連れてきました。そして、何とかして家の中に運び込み、イエスの前に置こうとしました。しかし、大ぜいの人々がいて、どうしても中風をわずらっている人を運び込む方法が見つからないので、屋上に上り屋根をはがし、そこから彼の寝床を、ちょうど人々の真ん中のイエスの前に、つり降ろしたのです。

その時、イエス様は、彼らの信仰を見て、言われました。「友よ(人よ)、あなたの罪は赦された」。イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。あなたの罪は赦されました」(マタイ9:2)(マルコ2:5)(ルカ5:20)と、言われたのです。

主は私たちの協力する信仰を見ておられます。私たちの宣教の協力を見ておられるのです。山を移すほどの信仰、信じる者が1人も減びないで永遠のいのちを得る信仰、紅海の水を真つ二つに分けるダイナミックな信仰、枯れ骨にいのちを吹き込まれる事実を信じ体験する信仰です。協力です。「三つ撚りの糸は簡単には切れない」(伝道4:12)のです。

私たちの信仰、私たちの伝道は、いのちか死か! 光か闇か! 天国かゲヘナかの真剣勝負です。すべてのいのちは神の形に似せて造られた尊いいのちです。1人として滅びることなく永遠のいのちを得なければならぬ、いのちです。神の形のいのち、神の栄光を現すいのちは滅んではならないのです。

この神の国が、サタンの国かの真剣勝負のせめぎ合いに神様が私たちを召されているのです。尊い神の業に私たちを、神の僕、神の器として参画するのです。なんとこの光栄でしょうか。1人の魂が救われる時、天において救いの喜びが大きくこだまするのです。

宣べ伝える者がいなくて、誰が福音を聞くことができるでしょうか。神はこの尊い宣教の使命を神に仕える天の天使に委ねず、地に住み罪人である私たち人間に委ねられたのです。この光栄ある務め、神の福音の宣教に私たちを召し、招いていてくださるのです。私たちは、この尊い神の業に参画するのです。

「わたしは誰を遣わそう 誰がわたしのために行くだろうか」。「ここに、私がおります。私を遣わしてください」。

『協力』83号

発行日:2015年2月27日
発行所:伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 205号室
TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com
発行者: 姫井雅夫
印刷: 新生宣教団(1000部)

伝道団体連絡協議会 新年会報告

日時：2015年1月15日(木) 14時～16時
場所：お茶の水クリスチャンセンター4F 東京プレーヤーセンター

参加団体

総動員伝道、国際飢餓対策機構、東京プレーヤーセンター、YWAM、日本宣教リサーチ、福音ネット伝道協力会、OneHope、CGNTV、お茶の水クリスチャンセンター、日本華人クリスチャンセンター、日本聖書協会、新生宣教団、BGEA、はこぶね便事務局(全14団体、うち加盟団体12団体)

姫井雅夫会長の挨拶に始まり、日本聖書協会の加藤太郎さんのギター伴奏による賛美、祈りの後、日本国際飢餓対策機構の田村治郎先生がショートメッセージを取り次いで下さいました。使徒の働き9章36-43節から、宣教団体は教会に仕えると言う基本を忘れることなく、(ドルカスの例をあげて)それぞれの団体が神様から与えられた目的を、与えられた賜物を生かして仕える事の大切さを語って下さいました。

その後、新しい加盟団体のワンホープ、東京プレーヤーセンター、福音ネット伝道協力会、日本華人クリスチャンセンターからの自己紹介があり、それぞれの団体の活動内容を知ることができました。

そして、4、5人ずつ4つのグループに分かれて、飲み物、お菓子をつまみながらの自由な意見交換、近況報告などをしながら団体間の交流の時間をもちました。

そして、最後にビリーグラハム伝道協会から11月20日～22日に予定されているセレブレーションオブラブの内容につき説明があり新年会を終了しました。

あっと言う間の2時間でした。これからも更に各宣教団体が一致協力して日本伝道に励まなくてはと思わされると共に、力も与えられて感謝でした。(報告：東京プレーヤーセンター和氣敏治)



お知らせ

～伝道団体連絡協議会の年次総会を下記の通り開催いたします～

日時：2015年4月17日(金) / 時間：14:00～16:00

場所：お茶の水クリスチャンセンター 415号室

※新しい団体が加わっています。加盟団体の皆様はぜひご参加くださりお互いの働きのために祈り合ひましょう。

伝団協 加盟団体の紹介!



日本CGNTV

<http://japan.cgntv.net>

東京：〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-46 OKUBO23 番館2F
TEL: 03-5338-6620/FAX: 03-3366-0055
大阪：〒542-0062 大阪市中央区上本町西3丁目1-1 大善ビル7F
TEL: 06-6764-1315/FAX: 06-6763-0997

いつもあなたのそばに。
24時間365日注がれ続ける神様の愛
世界のための福音の通路、CGNTV

日本語による豊富な霊的コンテンツが365日24時間放送されます。

日本CGNTVは、365日24時間、豊富な霊的コンテンツを放送する宣教教育専門放送局です。礼拝、御言葉セミナー、ティポーション(QT)、文化、子ども/青少年向け、特別座談会、報道、セミナー等、多様なクリスチャンコンテンツを毎月450編、年間5,000編を制作、日本全国から1,600名を超える牧師先生が出演する全国ネットワーク放送です。

日本におけるCGNTVの4つの働き

- 1：日本の教会を一つに結び”福音情報ネットワーク”としての働き
- 2：持続的なコンテンツ供給による教会の成長を助ける働き
- 3：優れたクリスチャン社会リーダーを発掘し、リーダーのモデルを提示する
- 4：”無牧教会キャンペーン”を通して福音の陰になっている所に希望を届けるプロジェクト

アンテナ設置、インターネット、モバイルアプリを通して視聴することが出来ます。



日本宣教リサーチ



(Japan Missions Research)

<http://www.tci.ac.jp/institution/fcc/jmr>

〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5
学校法人東京キリスト教学園 東京基督教大学 国際宣教センター内
TEL：0476-31-5522 FAX：0476-31-5521
E-mail：jmr@tci.ac.jp
代表者：山口陽一(東京基督教大学大学院神学研究所委員長)

「日本宣教リサーチ」は、33年の長きにわたって、宣教団体の宣教地リサーチや教会紹介などのために教勢データの収集と分析等の情報提供を行ってきた教会インフォメーションサービス(CIS)の働きを継承し、東京基督教大学国際宣教センターに、2014年4月に設置されました。

「日本宣教リサーチ」は、日本宣教と教会形成に関わる基本的・実証的な調査・研究を行うことを目的とし、広く日本宣教に従事する教会や宣教団体、あるいは日本宣教に対し重荷を持って祈り・支えてくださる人々との連携を深め、もって日本宣教の「包括的な宣教」の進展に資することを目指して行きたいと願っています。

◆「日本宣教リサーチ」は、次のような調査・研究を行うことを目的と致します。

- (1) 日本宣教に関する情報の収集および現状の調査・分析
- (2) 日本宣教と日本の宗教・文化に関する神学的な課題の研究
- (3) 日本宣教や教会形成に関わる「包括的な宣教」方策の研究

◆「日本宣教リサーチ」の活動

- (1) 日本宣教に係る出来事や動向、各教団・教派の取り組み、あるいは雑誌や学術文献等でテーマや課題になっている事柄等、広く日本宣教に係わる「今」の情報を抽出した「日本宣教ニュース」を年に2～4回発行する。
- (2) キリスト教の教勢に関するデータを収集し、毎年1回「日本宣教に関する現状と分析」のレポートを発行する。
- (3) 日本宣教に関するシンポジウムや研究会・研修会等を開催する。

